

音読とは、「声に出して文章を読むこと」です。
 国語の授業のみならず、たくさんの場面でおこなわれます。毎日の宿題になっている学級もたくさんあることでしょう。

音読をする効果は、「脳の活性化」「集中力アップ」「読解力が身につく」「語彙力がつく」「ストレス解消」「感情のコントロールができるようになる」「コミュニケーション力がつく」など多くのことが言われています。音読の力を高めることに、さまざまな効果があることは確かです。

とは言われても……。先生が、「いまから音読をします」「今日の宿題は音読です」と言ったら、「やった!!」と思える人は少ないのが現実ですよ。

「間違えたら恥ずかしい」「めんどくさい」「何回も同じものを読んでおもしろくない」といった心の声も聞こえてきそうです。

この本は、そんなみなさんに少しでも音読を楽しんでもらいたい！音読を好きになってもらいたい！と

願ってできた本です。

文章を読む際には、文字を目で追っていくことが必要となります。書いてあることを理解するためには、一字ずつ文字を認識するのではなく、ひとまとまりの単語として理解することが求められます。そして、単語と単語を結びつけて、文章として理解しなくてはなりません。音読は、さらにその読み取ったことを声に出して読むのですから、簡単なことではありません。

しかし、個人の差こそあれ、音読は、くり返しおこなえば必ず上達します。うまくなっていくことを実感することが出来ます。

この本では、「やまびこ」「合いの手」など、いつもは経験したことのないような音読の方法がたくさん登場します。「先生やおうちの人に怒られないかな」なんて心配の声も出てきそうですが、成功するまで何度もチャレンジしてみてください。必ず音読の力がアップします。

さあ、あなたも音読マスターへの1ページを開いてみてください！

① じゃんけん音読……………4

レベル① 『ミミツクサン』落合ユキ子(村山薫子)……………6

レベル② 『野ばら』小川未明(一部改訂)……………8

② じらめつ音読……………10

レベル① 『だじゃれ対決』……………12

レベル② 『現代版わらしべ長者』……………14

③ リレー音読……………16

レベル① 『汚れつちまつた悲しみに…』中原中也……………18

レベル② 『奥の細道』松尾芭蕉……………20

④ やまびこ音読……………22

レベル① 『とんび』葛原しげる……………24

レベル② 『雨ニモマケズ』宮沢賢治……………26

⑤ たけのこ音読……………28

レベル① 『道程』高村光太郎……………30

レベル② 『落葉松』北原白秋……………32

⑥ 合いの手音読……………34

レベル① 『おにぎり』……………36

レベル② 『ハワイの雪』中谷宇吉郎……………38

1

じゃんけん音読

グー、チヨキ、パーに願いを込めて、運命をたくすじゃんけん。だれもが経験したことがあるはずです。あいこの引き分けをはさみつつも、勝ち負けがすぐに決まります。こんな単純かつ明快なゲームはほかにはそうありません。このだれもが知っていて、だれもが盛り上げられるじゃんけんを音読に取り入れて楽しんでみましょう。

「じゃんけんに勝った人が読むことができる」というのが基本のルールです。いろいろな応用も考えられますが、負けた方が「読まなくてはならない」では、音読が罰ゲームのようになってしまいます。ぜひ勝った方が読めるという、音読を勝ち取るルールでおこなってもらいたいものです。また、「あいこならいっしょに読む」というルールも楽しいですよ。

ただし、楽しいじゃんけん音読ですが、じゃんけんの勝ち負けのみに夢中になりすぎて、音読することがどうでもよくなってしまわないようにご注意ください。



音読の方法

- 1 二人組になり、音読の準備をする。
- 2 段落ごと（一行ごとでも可）に、じゃんけんをおこない、勝った方が音読します。
- 3 読み終わった後、どちらが多く読めたかを競います。

ルール

- 1 じゃんけんの後出しは絶対禁止！
- 2 じゃんけんに負けたことがくやくしくて、負けたのに読みはじめたら失敗。

応用

- 1 手でじゃんけんをするのではなく、体全体を使っておこなう「体じゃんけん」にする。
- 2 一人対みんなでじゃんけんをして、勝った人だけが音読できる。
- 3 段落ごとにじゃんけんするのではなく、読んでいる人が間違ったところでじゃんけんをする。

コツ

- 1 こぶしに願いをこめて全力でじゃんけんをする。
- 2 心は熱く、頭は冷静に！ 勝ってうれしくても、切り替えて音読を開始する。
- 3 じゃんけんの必勝法を研究する。



レベル① 『ミミヅクサン』 落合ユキ子(村山眞子)

● ミッション① 段落ごとにじゃんけんをしましょう (8回戦)。
 ● ミッション② あいこなら二人いっしょに読むルールをつけ加えましょう。

(一) ミミヅクサン ハ
 サンポニ
 デカケマシタ。
 ノソリ、ノソリ、ト。

(二) ミミヅクサン ハ
 オイケノ ミヅヲ
 ノミマシタ。
 ゴクリ、ゴクリ、ト。

(三) ミミヅクサン ハ
 メガネヲ
 オトシマシタ。
 ドンブリコト。

(四) ミミヅクサン ハ
 メガネヲ
 トリニミヅヘ
 ハイリマシタ。
 ジャブ、ジャブト。

(五) ミミヅクサン ハ
 カラダ中ヌレマシタ。
 ビシヨ、ビシヨニ。

(六) ミミヅクサン ハ
 クシヤミガ
 デマシタ。
 ハツクシヨイト。

(七) ミミヅクサン ハ
 サンポヲヤメテ
 ウチニカヘリマシタ。
 ノソリ、ノソリト。

(八) ミミヅクサン ハ
 イマデモメガネガ
 アリマセン。
 キヨロ、キヨロ、ト。

ミミヅク

ミミズクは、フクロウ目フクロウ科の鳥で、羽角と呼ばれる飾り羽が特徴です。羽角は耳のように見えますが、耳の役割はありません。ミミズクを漢字であらわすと木菟や木兔になりますが、これは樹の上のウサギの意味で、羽角がウサギの耳のように見えることからこの漢字になったと考えられています。

